

石狩浜のニューフェイス

外来種アズマヒキガエルってどんなカエル?

アズマヒキガエルは、本来北海道には生息していなかった外来種のカエルです。2016年に北海道生物の多様性の保全等に関する条例で**指定外来種**に指定されており、**野外への放逐が禁止**されています。

石狩川沿いに分布を拡げており、石狩浜の近くに位置する親船名無沼では、たくさんのアズマヒキガエルが繁殖しています。

何が問題? 外来カエル

カエルは、動くものは何でも食べてしまいます。外来カエルは、在来種を食べてしまうことで北海道の生物多様性に直接的な影響を及ぼしてしまうおそれがあります。



↑夜、餌を探して歩き回る



↑名無沼での繁殖行動の様子

北海道には、2種類（ニホンアマガエル、エゾアカガエル）の在来種のカエルが生息しています。これらのカエルは、アズマヒキガエルとは見た目、卵の形状、鳴き声がそれぞれ異なっています。

種名	ニホンアマガエル (在来種)	エゾアカガエル (在来種)	アズマヒキガエル (外来種)
見た目	鼻～眼の後ろにかけて黒いライン 	鼻～眼の後ろにかけて黒いライン 	眼の後ろ～後ろ足の付け根にかけて黒いライン
卵の形状	 ・つぶつぶのゼリー ・数十粒ずつ、250～800粒	 ・つぶつぶのゼリー ・一塊が700～1,100粒	 ・ひも状のゼリー ・一本で1,500～14,000粒
鳴き声	 ・繁殖期は、5月～8月 ・雨の日にも鳴くことがある	 ・繁殖期は、4月～5月 ・雪解けすぐに産卵する	 ・繁殖期は、4月～5月 ・期間は1週間程度でとても短い

アズマヒキガエル対策

石狩市では、とくに石狩浜周辺の生物多様性を保全することを目的として外来種アズマヒキガエルの対策活動を実施しています。

1 防除柵と落とし穴による捕獲の検討 (2017～2018年)

アズマヒキガエルの防除には、まだ効果的な手法が確立されていません。そこで石狩市では、2017年度からアズマヒキガエルを効果的に捕獲する手法について検討しています。



↑落とし穴で捕獲したアズマヒキガエル



名無沼に設置した防除柵 (2018年)

2 側溝水路を利用した捕獲の検討 (2019～2020年)

アズマヒキガエルは、道路際にあるコンクリート水路の側溝内でも木の陰や、草やゴミの上に産卵します。そこで、アズマヒキガエルが側溝内で産卵しないように側溝内の泥やゴミなどの清掃を行いました。清掃後は、アズマヒキガエルの出没状況や鳴き声、産卵場所をモニタリングしています。



3 外来カエルに関する普及啓発活動

外来種の分布拡散の要因のひとつは、人為的な放逐です。そこで、外来種問題について知り理解を深めること、さらなる分布拡散の予防を目的として、外来カエルについての勉強会や講習会を実施しています。



アズマヒキガエルを見つけたら...

石狩市では、アズマヒキガエルの目撃情報を集めています。石狩市内でアズマヒキガエルを見つけたら、ぜひ情報提供をお願いいたします。

情報収集サイトに
とんでもOK!



メール ihama@city.ishikari.hokkaido.jp
電話 (0133) 72-3269
郵送 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2 石狩市自然保護課